

自転車活用推進計画 概要版

— E-BIKE の聖地 信越自然郷 飯山エリア —



1 計画の背景と目的

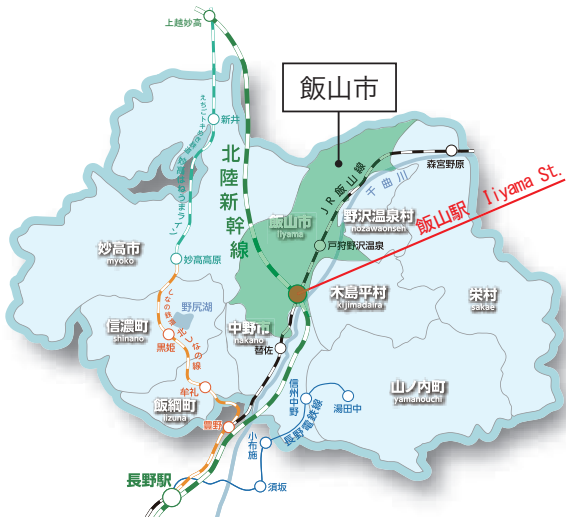


自転車は環境への負荷が小さく、健康に良い乗り物であり、日常の移動手段や観光利用、サイクルスポーツ、健康増進など様々な用途で利用されています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を背景に、屋外での密を避けたアクティビティとしても利用ニーズが高まっています。

国では、自転車利用の推進は国民的な課題とし、平成28年度（2016）末に自転車活用推進法を成立、平成30年度（2018）に第1次、令和3年（2021）5月には第2次自転車活用推進計画が閣議決定されました。

飯山市においても北陸新幹線飯山駅開業を機に、「信越自然郷アクティビティセンター」を駅内に開業するなど、観光客の自転車利用は増加傾向にありますが、より一層の自転車活用を行うため、関係団体、交通事業者、国、県、近隣市町村などと連携し、自転車の通行空間の確保と計画的な整備の推進、安全・安心な自転車利用に向けた広報啓発、広域観光圏での観光振興、健康増進、カーボンニュートラル実現に向けた環境保全等について取り組むための指針として「自転車活用推進計画」を策定します。

2 計画区域、計画期間



計画区域

市内全域（観光振興は、信越自然郷エリア）

信越自然郷エリアの市町村

飯山市・妙高市・中野市・山ノ内町・信濃町
・飯綱町木島平村・野沢温泉村・栄村

計画期間

2023年度から2032年度
社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

3 基本的な考え方



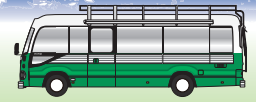
本計画は、自転車活用推進法第11条の規定に基づく、市町村自転車活用推進計画とします。また、「第6次飯山市総合計画」、「飯山市地域公共交通計画」、「第3次飯山市環境基本計画」と整合を図りつつ、その他の関連計画との整合を図ります。また、国及び長野県において「自転車活用推進計画」が策定されていることから、これらの計画と連携し、飯山市の実情に応じた計画とします。

自転車活用推進法
自転車活用推進計画（国土交通省）
安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

長野県自転車活用推進計画

飯山市第6次総合計画
（計画期間 2023年度～2032年度）
【第3次飯山市環境基本計画】【飯山市地域公共交通計画】

自転車活用推進計画
— E-BIKE の聖地 信越自然郷 飯山エリア —



4 課題



【課題1 自動車への依存度が高く、自転車の交通分担率が低い】

豪雪地帯であるこの地域は、生活圏内での移動手段は自動車への依存度が高い傾向にあります。このことは、体力の低下や環境負荷の増加に加え、高齢化進行による免許証返納者の増加も想定され、地域の交通手段の確保が課題となっています。

【課題2 通行空間分離など、自転車の走行環境の整備】

多くの方が、様々な乗り方で自転車を使用するには、舗装路だけでなく未舗装道路や林道、農道など、それぞれの通行空間による環境整備が必要であり、道路や駐輪場整備、サイクルステーション設置などに加え、コンテンツの磨き上げや魅力づくりなど、サイクリストの受入体制など総合的なサイクリング環境の整備が課題となっています。

【課題3 安全性の担保】

自動車、自転車、歩行者等のそれぞれの交通ルールやマナーの啓発など、幅広い年齢層が快適に自転車を利用できる安全教育や環境創出など自転車事故を防止するための取組みが必要です。また、自転車整備点検を依頼する店舗が減少するなか、整備点検の啓発や整備技術の指導も必要であると考えます。

【課題4 自転車の広域観光利用】

自転車の広域観光利用を推進する上での最終的な目標は、サイクルツーリズムを地域の経済活動の一つとして位置づけ、観光収入増加による移住定住人口の増加につなげる事にあります。

5 目標の設定



利用促進
健康・環境

目標1 健康的で環境にやさしい自転車利用の推進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

環境
整備

目標2 快適で安全な自転車利用環境の整備



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

交通
安全

目標3 自転車事故のない安全で安心な社会の実現



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

観光
振興

目標4 自転車を活用した広域観光の推進



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



6 実施施策及び事業



利用促進
健康・環境

施策1 市民の日常の自転車利用促進

- 事業1 自転車の利用促進につながる情報発信
- 事業2 健康ポイント制度との連動

利用促進
健康・環境

施策2 自転車通勤等の促進

- 事業3 自転車通勤拡大のための広報啓発
- 事業4 市役所における自転車利用の促進
- 事業5 交通手段としての E-BIKE の活用
- 事業6 公共交通との連携による自転車利用の促進

環境
整備

施策3 自転車利用促進とサイクリングコースに対応した通行空間整備

- 事業7 通勤・通学、業務、買い物など日常生活など市民の自転車利用に対応した通行空間の整備
- 事業8 広域観光などのサイクリングコースに対応した通行空間の整備
- 事業9 農道・林道の活用

環境
整備

施策4 快適で安全な自転車通行空間の確保と対策

- 事業10 自転車利用環境のソフト対策
- 事業11 除雪作業による舗装路損傷等対応策の検討
- 事業12 堆雪帯を活用した自転車通行帯の確保

交通
安全

施策5 交通安全教育の推進及び啓発活動

- 事業13 自転車利用者の交通安全教育の充実
- 事業14 自転車を含めた交通事故のない社会づくりの推進

交通
安全

施策6 自転車の点検整備・保険加入などの安全・安心対策

- 事業15 自転車保険の加入促進
- 事業16 ヘルメットの着用の推奨
- 事業17 自転車の安全点検

観光
振興

施策7 自転車活用による広域観光の活性化

- 事業18 各種サイクルイベントと地域産業の連携
- 事業19 先行するレンタサイクル事業の活用
- 事業20 地域情報のサイクリストへの提供システムの構築
- 事業21 信越自然郷におけるサイクリング環境づくりの情報発信・PR 活動の推進
- 事業22 都市部からの自転車山村留学の受入

観光
振興

施策8 サイクルツーリズムの推進

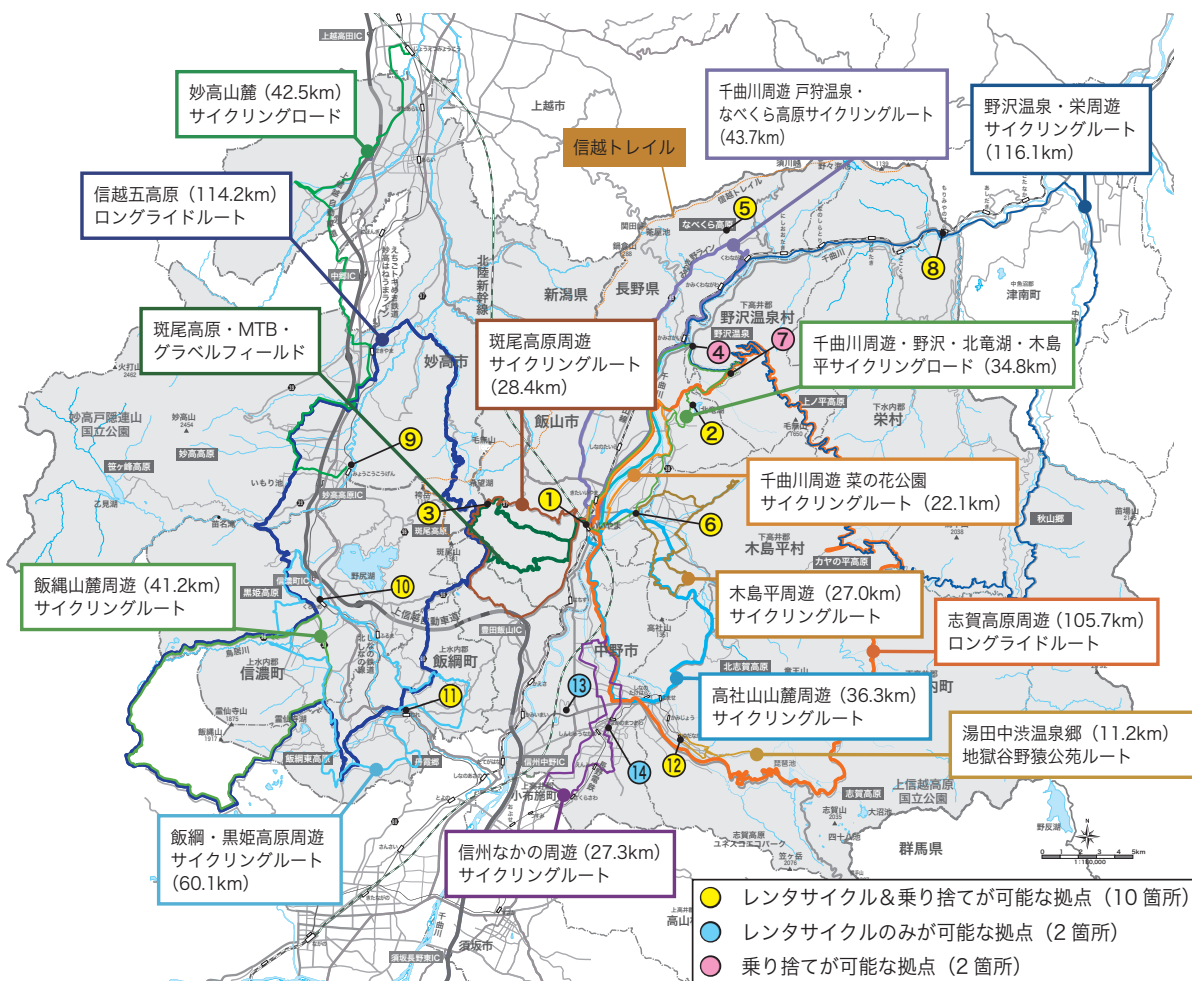
- 事業23 更なる広域ネットワークの形成
- 事業24 サイクルツアーガイドの育成
- 事業25 サイクルイベントの開催協力（ロード、ヒルクライム、グラベルなど）
- 事業26 サイクルトレイン、サイクルバス運行の検証
- 事業27 海外からのサイクルツアー誘致（体制・仕組みづくり）
- 事業28 E-BIKE の観光利用促進



信越自然郷エリアサイクリングルート及びレンタサイクル配備等一覧



サイクルステーションなど、サイクリスト向けの施設・サービス等の充実化を図るなどの環境整備を進めます。また、飯山駅を中心とした広域市町村と連携を図り、観光地等をつなぐ新たなルートを開発し、相互の観光連携とサイクルツーリズムを推進します。



No	拠点施設名称	自転車 設置台数	E-BIKE 設置台数			施設毎 合計	乗り 捨て	備 考	
			クロス	オフロード	シティ				
①	信越自然郷アクティビティセンター	飯山市	53	15	3	4	75	○	
②	いいやま北竜温泉 文化北竜館	〃	2				2	○	
③	まだらお高原 山の家	〃			8		8	○	
④	いいやま湯滝温泉	〃					0	○	
⑤	なべくら高原・森の家	〃	5				3	○	
⑥	道の駅 FARMUS 木島平	木島平村	3	6	2	2	13	○	
⑦	野沢温泉観光案内所	野沢温泉村		6	2		8	○	コンパスビレッジ貸出※
⑧	栄村復興祈念館 絆	栄村		5		3	8	○	
⑨	妙高高原観光案内所	妙高市	5	2			7	○	
⑩	しなの町観光案内所	信濃町	14	6			20	○	
⑪	飯綱町観光案内所	飯綱町		2		2	4	○	
⑫	湯田中駅ガイドセンター	山ノ内町				5	5	○	楓の湯にて貸出※
⑬	北信濃ふるさとの森 文化公園	中野市		5			5		※
⑭	中野陣屋・県庁記念館	〃				5	5		※
車種別合計			82	47	18	21	168		

※ 印は他地点への乗り捨て不可

・本一覧は信越自然郷レンタサイクルネットワーク、および公共施設等におけるレンタサイクル設置台数をまとめたものです。

・この他、民間事業者によるレンタサイクル (E-BIKEを含む)、ガイドツアーなどが行われています。